

「深草の魅力『知って』・『感じる』体感プロジェクト」実行委員会
次第

日 時 令和3年1月21日（木）
15時30分～17時00分
場 所 深草支所4階会議室

| | |
|--------|---|
| 15:30～ | 1 開会 |
| 15:32～ | 2 開会挨拶 [区長] |
| 15:35～ | 3 総合情報誌について (1) 総合情報誌の進捗報告 [まちとしごと総合研究所] (説明10分/審議5分) (2) 配布先と効果測定の方法について [深草支所] (説明5分/審議10分) |
| 16:05～ | 4 今後の移住・定住の促進や、域内経済循環及び地域経済の活性化に向けた取組について [深草支所] (説明5分/審議50分) |
| 17:00 | 5 閉会 |

「深草の魅力『知って』・『感じる』体感プロジェクト」実行委員会
委員名簿

(五十音順／敬称略)

| | 所属・役職 | 氏名 |
|---|-------------------------|-------|
| 1 | 京都教育大学 教育学科 教授 | 徳岡 慶一 |
| 2 | 京阪ホールディングス株式会社 経営統括室 課長 | 岡田 洋 |
| 3 | 特定非営利活動法人京都子育てネットワーク 理事 | 木村 尚子 |
| 4 | 龍谷大学 政策学部 教授 | 只友 景士 |
| 5 | 京都市伏見区深草支所 地域力推進室長 | 上原 智子 |

いただいたご意見とそれを踏まえての修正

1 実行委員からの意見

【冊子反映済み】

- 「ふかくさってこんなところ」
 - ・ 文章の2行目 また・・・ 京都教育大学・・・の京がぬけています。

→ 修正。

- 「子育てしやすいまち、深草」
 - ・ 児童館数には学童クラブは入ってますでしょうか？

→ 「児童館・学童クラブの数」として7ヶ所に修正。
(うずらの里児童館, うずらの里児童館施設外クラス×2,
ふかくさ輝っず児童館, 深草児童館, 藤城児童館, 藤森学童クラブ)

- 「welcome 深草」
 - ・ 「小学校区」と「学区」を同じ意味で使っている。統一する必要はありませんか。それとも使い分けしているのでしょうか。

→ 「welcome 深草」の学区運動会の箇所で「小学校区」という文言を使っていたが、「各学区」という表記に修正し、統一。
また、「ふかくさってこんなところ」の下部に下記のような学区の説明を追加。
「学区」とは京都市特有の地域活動単位です。深草には5つの学区があり、多くの地域活動が「学区」単位で行われています。

【最終校正にて反映予定】

- 「ふかくさってこんなところ」
 - ・ JR 稲荷踏切を超えたところと京阪深草の間にスーパー (フレスコ) がぬけています。

→ 追加。

- 「子育てしやすいまち、深草」
 - ・ 設立20年以上のサークル、もしたんぽぽサークルのことであれば来年28年目になります（25年以上にいていただいてもよいかもしれませんが・・・）

→ 25年以上に修正。

- ・ 「数字で見る・・・」の「園庭開放の数」「サークル・サロン数」のカウンターの仕方が分かりにくいような気がいたします。1か月あたりの開催延べ数や開催箇所数ということでしょうか、

→ 「園庭開放の開催数」「1ヶ月あたり延べ」という表記に修正。

【検討したが難しい】

- 「ふかくさってこんなところ」
 - ・ コンビニもあったほうが良いかなとも思いました。（いっぱい過ぎる感もありますが）

→ 本冊子は長年使用したいため、移り変わりの激しいコンビニは省略。

- ・ 大阪の地図を藤森の左横（深草の紹介なので深草エリア外）に移動できないでしょうか？

→ 余白的に厳しい。

2 事務局修正予定

- 「ふかくさってこんなところ」
 - ・ マップに「鴨川運河（琵琶湖疏水）」の名称を追加。
 - ・ 京都高速道路に「城南宮南 IC」「城南宮北 IC」「鴨川西 IC」「上鳥羽 IC」を追加。
 - ・ マップ凡例の「児童館」を「児童館等」に変更し、マップに「藤森学童クラブ」を追加。
- 「子育てしやすいまち、深草」
 - ・ 特徴02の「疏水」という表記を「鴨川運河（琵琶湖疏水）」に変更。
 - ・ 「※京都市では、7年連続で年度当初の待機児童ゼロを達成しています！」という文言を追加。
- 「welcome 深草」
 - ・ ページ下部に以下の文言を追加。

「このパンフレットを見た」といって、深草支所まちづくり推進担当に転入の手続きに来られた方には、吉兆くんグッズを渡します。

深草の魅力「知って」・「感じる」体感プロジェクト 情報誌及び冊子のコンセプト及び配布先（予定）

1 冊子等の目的, ねらい ※子育て世帯（子どもの成長）、若手社会人（結婚時）、学生（就職時）を意識する。

【メインターゲット】

- ・ 現在転居を検討している人、京都に住みたい方に、「深草」で暮らすという選択肢を知らせる。
- ・ 「深草」近郊で転居を検討している人に、深草の暮らしの魅力を深く知っていただき、転居先として深草を選択していただく。

【サブターゲット】

- ・ 「深草」をあまり知らない人に、深草の魅力や深草の暮らしの魅力を知っていただき、将来、転居の際の選択肢に加えていただく。
- ・ 現在深草に住んでいる人に、深草の魅力を深く知っていただき、住み続けていただく。

2 冊子等の対象（ターゲット）ごとのアプローチや配布先、内容等

| | 対象（ターゲット） | アプローチ | 配布先（検討中） | スタイル |
|-----|--|---|--|-----------------------------|
| (1) | 現在転居を検討している人 【メイン】 | 京都に住みたい方に、「深草」で暮らすという選択肢を知らせる | 京阪電鉄各駅（大阪、大津等） 大学生協（京都教育大学、龍谷大学等） 住むなら京都（WEB） 移住交流ナビ（WEB） 京都移住計画（WEB） 京都府下の不動産会社（全日本不動産協会、京都府宅地建物取引業協会の加盟企業） 中小企業家同友会の会員企業 | A4 版 8 ページ イメージ戦略 |
| | | 京阪等で配布することで、「深草」で暮らす選択肢を与え、不動産検索サイト等で検索してもらいたい。 | | |
| (2) | 「深草」をあまり知らない人【サブ】 | 深草の魅力や深草の暮らしの魅力を <u>知</u> っていただき、 <u>将来</u> 、転居の際の選択肢に加えていただく | 京阪電鉄各駅（大阪、大津等） 商業施設（同上） | |
| (3) | 「深草」近郊で、 <u>現在</u> 転居を検討している人 【メイン】 | 深草の暮らしの魅力を <u>深く</u> 知っていただき、転居先として深草を選択していただく | 深草周辺の不動産会社（全日本不動産協会、京都府宅地建物取引業協会の加盟企業） | B5 版 16 ページ 深く知ってもらおう |
| (4) | <u>現在</u> 「深草」に住んでいる人【サブ】 | 深草の暮らしの魅力を <u>深く</u> 知っていただき、住み続けていただく | 深草エリアの施設・飲食店等※ | 読み物 |

※ 寺社、大学、京エコロジーセンター、青少年科学センター、呉竹文化センター、北堀公園、飲食店、店舗、企業、支所や大学での各種講座等

3 当面のスケジュール

- (1) 最終校正→2月上中旬
- (2) 完成→2月下旬
- (3) 次回実行委員会→3月ごろ

< 深草の資源 >

- 自然、環境、農業（竹林、疏水、深草野菜など）
- 歴史（伏見稻荷大社、藤森神社、石峰寺、十二帝陵等）
- 利便性（鉄道3線）
- 大学（龍谷大、京都教育大）
- 地域力（5学区繋がり）
- 子育て支援活動（サークル、つどいの広場）

豊かな自然・歴史に恵まれながら、交通の利便性も確保されたまち

住み続けたいまち1位(H30市政総合アンケート)
・歴史・文化・豊かな自然等があるから：53%
・便利で暮らしやすいから：45%

深草の魅力「知って」・「感じる」体感プロジェクト

- 優れた住環境を発信し、「住む・住み続けるまち」としてイメージを高め、学生や子育て世代の定住・移住を促進
- 地域の文化・歴史等を身近に感じて体験してもらい、回遊してもらうことで、地域経済を活性化

現在

「移住」「来訪」促進に焦点を当てた情報発信

- 深草の名所VR映像で紹介して回遊を促進する「伏見深草バーチャルウォーカー」の開設
- 移住を促進する「総合情報誌」の作成（作成中）

（令和2年12月公開済み）

発展・充実！

- 1 情報発信に加え、実際に「体感」してもらう取組を強化
- 2 移住促進に加え、「定住」促進の取組を強化 →子育て世帯が安心して暮らせるまちづくり
- 3 来訪促進を深化させ、消費活動に結び付ける「経済活性化」の取組を強化

今後の取組 (例)

移住の促進【継続】

「総合情報誌」を活用したPR

- ・鉄道、不動産会社等での配布
- ・大学生協、オープンキャンパスでの配布
- ・移住サイトでのWEB発信 など

定住の促進【充実】

- 転入者を温かく迎え入れ、転入後の不安を解消するバックアップする環境を整えるため、保護者・子ども・支援団体等が情報交換や相談できるつながりづくりを促進
- 転入された子育て世帯の交流会 ⇒ 参加者同士のLINEグループ結成
 - 「子どもと一緒に楽しむ暮らし」をテーマにした情報発信 など

地域経済の活性化【充実】

交通の利便性が良く、コンパクトに回遊できるという深草地域の利点を活かし、**域内経済循環と地域経済の活性化を目指す**。「深草で見る・体験する・食べる・買う」に関する情報発信や体験プログラムを実施。**地域住民には域内のサービスの利用を促し、「マイクロ・ツーリズム（近郊の旅行）」として域外からの来訪を促進する。**

実行委員会の体制

- 地域経済の活性化を目指すにあたり、**実行委員会を発展**
⇒地元経済団体、商店街、体験工房、寺社等の参画を求める
- 店舗単位の事業者にも幅広く関わってもらえるような仕組みを検討（ex.部会の設置など）